

# 令和3年度 首都圏進路研修 感想文

No. 【 1 】

研 究 所 大 理 学 部 【 】 2 年 4 組 【 】 番 氏 名 【 】

私はこの研修を通して、東大の理学部生の進路ルートと、学部内で行っている研究の一部を知ることができました。

進路ルートについて印象に残っているのは、卒業生の88%が大学院へ進学するということですが、私はまだ大学から先の進路について考えはいいないのですが、殆どの人が進学するということのは東大ならではだろーと思えます。研究は不安との戦いという言葉を聞きました。その不安と向き合う学生の覚悟を感じました。

表面物理・ナノスケール物理の話は、私たちが高校生でも理解できるような分かり易い説明をしていただきました。特にナノワールドという課題は、私たちの日常生活からかけ離れているように見え、研究には果てしないうえに力が必要だということも伝わって来ると反例されました。

非日常のように見える、私たちの生活の基盤となっっているナノワールドは興味深い課題







# 令和3年度 首都圏進路研修 感想文

No. [            ]

研修先 [ 東京大学 理学部 ] 2年 7組 番氏名

先日は将来に非常に意義のある講話をしてく  
 くだエリありがとうございました。新型コロナ  
 ナの感染拡大の中で私たちが実際に東京大学  
 へ訪ねることが叶わぬという事態に対し、  
 Zoomでの講話を実現してくださったお陰  
 で私たちの学びの機会は失われずに済みました。  
 講話内容はこのようにも、私たちが理解できま  
 ぶの要点を詳しく説明していただきました。  
 私に印象に残っているのは、野口英世が黄熱  
 病を実は発見していたことだそうです。  
 普通の顕微鏡では見ることの出来ないミクロ  
 な世界の神秘が私にはとても新鮮なものに感  
 じました。  
 講話最後には大学の研究所を見せてくださ  
 いました。驚いたのは研究所が想像している  
 より巨大だったことです。多くの部屋があっ  
 てそのそれぞれに精密な実験器具が所狭しと  
 並んでいると思うと、費用の大きさは計り知  
 りません。それだけ東京大学というのには本

令和3年度 首都圏進路研修 感想文

] 2年 組 番 氏名

の第一線の研究にエッセンスをいれる機関なのだろう

と思っております。

私たちの日常は先生方の研究により質が向

上し、昔よりも遙かに暮らしやすくなりました

た。先生方の研究の成功を細やかに祈念し、

私も先生方の偉大な業績に続けたいと思います。

あと、未熟な私たちが考えたいです。



令和3年度 首都圏進路研修 感想文

No. 【 / 】

研修先【 東大理学部

】 2年 6 組 番 氏名

今回私たちのために時間を割き、講演を開いていただきありがとうございました。東大の学部や大学院、生徒、進学など様々なことを学ぶことができました。一口に物理学といふと、大学は高校よりはるかに難しいだろうと漠然と思っただけでしたが、物理学のいろいろなことについて細かくすると少しは身近なものにも、たよりに感じます。電子顕微鏡やSTM針の話は本当に理解できたとは言えないと思いますが、最先端の技術は原子レベルであることや、様々な工夫に驚きました。また、今年は新型コロナウイルスの影響で大学のオプニキ+10%が様々な大学で中止になった。たのびで大学の研究室を見学することができずにいたところ、研究室を見学することができてよかったです。

今回は本当に私たちのために講演を開いていただきありがとうございました。これから、お身体に気をつけて研究をがんばって下さい。